

船舶事故等調査報告書

平成25年2月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第171号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成24年7月21日 13時50分ごろ
発生場所	兵庫県姫路市姫路港広畑第1区 姫路市所在の広畑東防波堤灯台から真方位016°2,300m付近 (概位 北緯34°47.0′ 東経134°38.1′)
事故等調査の経過	平成24年11月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 みつひろ <sup>ファイブ</sup> 、497トン
船舶番号、船舶所有者等	140909、有限会社三原汽船
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 バルバスバウに凹損 岸壁 なし
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、鋼材約1,700tを積載し、船首約3.75m、船尾約4.30mの喫水で姫路港広畑第1区の鴨田岸壁に約3ノット（kn）（対地速力、以下同じ。）で着岸作業中、行きあしが止まらず、平成24年7月21日13時50分ごろバルバスバウが同岸壁に衝突した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期
その他の事項	本船は、1年間に数回鴨田岸壁に着岸していた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、姫路港広畑第1区の鴨田岸壁において着岸作業中、約3knの前進行きあしで接近したことから、行きあしを制御できず、バルバスバウが同岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、姫路港広畑第1区の鴨田岸壁において着岸作業中、約3knの前進行きあしで接近したため、行きあしを制御できず、同岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・着岸する際は、早めに後進にかけるなどして十分に行きあしを減じること。</li></ul> |
|--|---|